



WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2010～2011年度
国際ロータリーのテーマ
地域を育み、大陸をつなぐ
2010～2011年度
RI会長 レイ・クリンギンスミス

創会 立：1980年(昭和55年)1月10日
会 長：田中 隆義
幹 事：加納 裕
クラブ 委員長：梅村 昌孝
例 会 日：毎週木曜日 PM12:30～
会 場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1489回例会

～ロータリー理解推進月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2011年1月20日(木) 晴 第26回

司 会：佐藤一郎会場委員
斉 唱：「それでこそロータリー」「四つのテスト」
ビ ジ タ ー：名古屋葵RC 青木昭憲さん

会長挨拶

田中隆義会長



皆さんこんにちは。毎日寒い日が続いていますが、今日1月20日は二十四節気の中の大寒です。この時期、特に高齢者には脳卒中の発作を起こす人が多くなりますので、今日は脳卒中の話をお話します。

脳卒中は、以前は日本人の死亡原因の第1位だったことがありますが、現在では、1位が癌、2位が心臓病で脳卒中は3位です。年間では新たに約35万人が脳卒中になり、年間死亡者数は約13万人といわれています。医療の進歩で脳卒中は命が助かって麻痺や言語障害などの後遺症が残ることが多く、やっかいな病気です。

国民生活基礎調査によりますと、「寝たきり」となった主な原因は、脳卒中が約4割で最も多く、次に老衰、認知症、骨折・転倒となっています。卒中とは突然に急激な症状を発作的に起こす場合をいい、脳の出血、血栓などの循環障害によって、突然に意識障害や運動麻痺を起こす脳卒中がその代表とされています。つまり脳卒中は、脳の血管が詰まったり破れたりして、その先の細胞に栄養が届かなくなり、脳細胞が死んでしまう病気です。症状は突然倒れて意識がなくなったり、半身の麻痺が起きたり、ろれつが回らなくなったりする発作が起こります。脳卒中は一つの病気ではなく、「脳梗塞」「脳出血」「くも膜下出血」の3種類の病気があります。

「脳梗塞」は脳の血管が詰まるタイプで、3種類があります。①脳の太い血管にコレステロールの固まりができ、そこに血小板が集まって動脈をふさぐ「アテローム血栓性梗塞」。②脳の細い血管に動脈硬化が起こり詰まる「ラクナ梗塞」。③心臓にできた血栓が流れてきて脳の血管をふさぐ「心原性脳梗塞症」などがあります。脳梗塞の原因のほとんどは「動脈硬化」によるもので、夜間など安静時に起きやすく、脳卒中全体の約75%を占めます。

「脳出血」は脳の中の細い血管が破れて出血し、神経細胞が死んでしまうタイプで、高血圧や年をとって血管が弱くなり、血管が破れることが原因となります。最近では脳梗塞や心筋梗塞の治療に

使われる抗凝固薬などの薬の副作用として脳出血が起きることがあります。日中、活動している時に頭痛やめまい、半身麻痺、意識障害などが起こり脳卒中全体の15～20%を占めます。

「くも膜下出血」は脳をおおっているくも膜と軟膜の間にある動脈瘤が破れ、血液が脳全体を圧迫し、突然激しい頭痛、嘔吐、けいれんなどが起き急死することもあり、脳卒中の中で最も死亡率の高い病気で、発作を起こした人の3分の1が死亡し、3分の1が後遺症を残し、3分の1が社会復帰ができると言われています。脳卒中の5～10%を占めます。「脳出血」が男性に多いのに対し、「くも膜下出血」は女性に多く、また働き盛りの40～50歳でも発症することが少なくありません。脳卒中は発作が起きてからでは遅く、発作を起こさないようにすることが必要ですが、時間となりましたので続きは来週に致します。

出席報告

鈴木淑久出席副委員長

会員66名 出席53名 (出席計算人数52名)

出席率 86.9%

1月13日は補填により 83.6%

ニコボックス

鈴木淑久ニコボックス副委員長

・本日はお世話になります。

名古屋葵RC 青木 昭憲さん

・最近一年過ぎるのが「速い」と思うようになりました。今日は、私の誕生日です。

市岡 正蔵さん

・1月20日、本日は私の63歳の誕生日です。めでたくもあり、めでたくもなし、ガンバリましょう。

岩田 修司さん

・1月1日、64歳。あと1年で老人の仲間入りとは!!

天野 正明さん

・先日は家内の誕生日にお花を頂きありがとうございました。

西本 哲さん

・先日高須さんにお世話になりました。

田中 隆義さん

・ゴルフ場が大雪で大変です。50cmの積雪でした。

内田 久利さん

・末の娘が成人しました。天野さんに大変お世話になりました。きれいに撮っていただいて有難うございました。

佐藤 一郎さん

・次男が歩くようになりました。

鈴木 淑久さん

委員会・同好会報告

国際奉仕委員会:市岡正蔵委員長

台北延平ロータリークラブ34周年記念式典の公式訪問についてFAXにてご案内しておりますが、締切が1月24日(月)となっております。多数の参加をお願い申し上げます。

会場委員会:岩田修司委員長

2月24日(木)はお試し例会として、先にお食事をし後に卓話を行うといったラフなスタイルの例会を企画しております。メールボックスにも入っておりますので、お間違いのないようによりしくお願いします。

幹事報告

加納 裕幹事

- ・本日13時40分よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第2回クラブ奉仕協議会を開催致します。
- ・本日16時00分より日土地名古屋ビル8階にてIDM打合せ(シミュレーション)を開催致します。
- ・1月27日(木)13時40分よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて地区大会実行委員会第2部会を開催致します。

第4回クラブフォーラム(中間決算と組織)

議長:田中隆義会長 進行:加納 裕幹事

ただいまより第4回クラブフォーラムを開催致します。

中間決算について:長瀬憲八郎会計

2010~2011年度の中間決算を発表させていただきます。実績の数字で読ませていただきます。

収入の部

入会金が入会者2名で300,000円、会費が5,895,000円(@90,000×63名+3名×5/6)、例会費が8,047,000円(@125,000×62名+3名×99,000)、R財団寄付が716,200円、米山記念奨学会寄付が612,000円、地区大会協力金が315,000円(@5,000×63名)、来訪者会費が48,000円(@4,000×12名)、米山奨学生受入が1,020,000円、雑収入が58,066円。当期収入合計が17,011,266円、前年度繰越収支差額が4,638,248円。収入合計が21,649,514円です。

支出の部 その1

ロータリー組織関係の費用です。R1関係は人頭分担金が146,776円、規定審議分担金が5,796円です。全国関係はロータリー財団寄付が716,200円、米山記念奨学会寄付が612,000円、ロータリーの友購読料が89,250円です。地区関係は地区資金が305,000円、地区大会協力金が305,000円、地区事業費が164,700円、ガバナー月信購読料が61,000円、米山奨学金が840,000円、地区大会参加義務者負担金が264,000円、地区大会晩餐会参加義務者負担金が54,000円、地区協議会参加義務者負担金は0円、社会奉仕市内24RC分担金が61,000円、新世代ライラセミナー協力金が24,000円、名古屋姉妹都市協会分担金が12,500円、地区出向費が86,500円です。ロータリー組織関係全体の小計は3,747,722円です。

支出の部 その2

例会関係の費用です。例会費が5,441,547円、来訪者会費が48,000円、小計は5,489,547円です。

委員会活動関係の費用です。クラブ奉仕関係でクラブ奉仕が

10,000円、出席が72,450円、ニコボックスが112,350円、職業分類が0円、会員増強及び維持が41,075円、会員選考が0円、クラブ広報が608,320円、親睦活動が143,675円、プログラムが64,200円、ロータリー情報が34,156円、会場が162,400円です。会場が予算をオーバーしていますが、「4つのテスト」卓上プレート、ロータリー旗を二旗と鐘を新しくしたためです。

職業奉仕は10,000円、社会奉仕関係で社会奉仕(奉仕プロジェクト)が130,000円、環境保全が5,000円、新世代が0円、ローターアクトが551,106円です。国際奉仕の関係で国際奉仕が10,000円、ロータリー財団が0円、米山奨学金が20,000円です。長期ビジョンは0円、地区大会実行は0円、委員会活動関係全体の小計は1,974,732円です。

支出の部 その3

管理費関係の費用です。賃借費が1,370,800円、人件費が2,473,883円、会議費が10,000円、通信費が181,891円、旅費交通費が215,200円、事務消耗品費が567,427円、印刷費が639,240円、雑費が173,501円、管理費の小計は5,631,942円です。予備費が0円、当期支出合計が16,843,943円、当期収支差額は167,323円、次期繰越収支差額は4,805,571円です。

ニコボックス収支計算書

収入の方は、7月~12月までの合計と利息で当期収入合計1,429,231円、前期繰越収支差額が4,765,722円で、収入合計が6,194,953円となります。支出の方は、ウガンダ視察補助が150,000円、奄美地方豪雨災害義援金が65,000円、振込料が420円、地区大会用口座へ貸付金が3,000,000円。当期支出合計3,215,420円。当期収支差額が△1,786,189円で、次期繰越収支差額が2,979,533円です。

貸借対照表

資産の部は、現金105,182円、普通預金2,727,563円、普通預金(米山)181,182円、定期預金0円、未収金0円、立替金0円、仮払金0円、仮払金(地区大会)478,525円、前払金1,348,450円、貯蔵品322,050円、普通預金(ニコボックス)979,533円、定期預金(ニコボックス)2,000,000円で合計8,142,485円です。

仮払金(地区大会)は地区大会を全員登録として、仮払いという形になっております。前払金は事務局家賃、貯蔵品はバナー1枚2,850円×113枚分となっております。

負債の部は、未払金73,669円、預り金21,614円、仮受金262,098円、前受金0円、剰余金4,805,571円、剰余金(ニコボックス)2,979,533円で合計8,142,485円です。

未払金は電話料17,530円と社会保険料56,139円の合計、預り金は雇用保険料、仮受金はクリスマス家族会の会費と支払った金額の差額となります。

監査報告:森 恒夫さん

1月11日に事務局にて監査を実施致しました。その結果、平成22年7月1日から12月31日までの収支、及び12月31日現在の貸借対照表は適正に表示されていると認められました。以上ご報告申し上げます。

議長:田中隆義会長

ただいま報告がありました中間決算報告について、ご質問ありますでしょうか。よろしければ拍手でご承認をお願い致します。(拍手)

次年度組織について:馬場将嘉副幹事

2011～2012年度の役員及び委員会構成案を発表させていただきます。役員理事は昨年12月に発表されておりますので、本日は委員会構成のみ発表いたします。(2011～2012年度クラブ役員・理事及び委員会構成案は4ページの表を参照)

議長:田中隆義会長

ただいま発表されました次年度の組織について、ご質問ありませんでしょうか。よろしければ拍手でご承認をお願い致します。(拍手)ありがとうございました。

次年度会長:高須洋志さん



次年度一年間このメンバーでクラブの運営の舵取りをさせていただきます。82年に1回しかこない地区大会のホストを務めるという年に当たりました。男性の平均年齢は80歳まで届いておりませんが、その一生に一度あるかなしかの行事がたまたま当たりました。クラブの皆さんのご協力を切に願ひまして、一年

間宜しく願ひします。



ロータリーワールド

ポリオのないインドを目指して

インドでのポリオ撲滅に向けて莫大な時間をボランティア活動に捧げてきたロータリアンとともに、現地企業が支援に乗り出しました。

出稼ぎ労働者の家族の子どもへの予防接種が見逃されやすいことを認識したモラダバード(ウッタルプラデシ州)のロータリアンは、4月、季節労働者の雇い主たちと会合を持ち、これら労働者の子どもたちにも確実に予防接種が行われるよう説得しました。雇い主たちは、同月末に予定されている準全国予防接種日に、出稼ぎ労働者が働く場所すべてに予防接種ブースを設置することに同意しました。

インドにおけるポリオ発症数の減少

89

22

各年1月1日～6月29日までの数字。出典：世界保健機関 (WHO)

ニューデリーでは、InterGlobe Technology社が、デリー・サウスウェスト・ロータリー・クラブ会員たちの活動に参加し、5月の準全国予防接種日にマディプル公共医療センターで子供たちにワクチン投与を行いました。同社は、ポリオ撲滅へのロータリーの取り組みを今後も支援し続けることを約束しました。

このような幅広い参加により、インドでは今年、8月10日時点の発症件数が27件となっており、2009年同時期の184件と比べると大幅な減少を見せています。インドでの成功の主な立役者となったのが、アディティア・ビルラ・グループです。同グループのおかげで3,200の村、300万人以上の子供に予防接種が行われました。

「当グループは、国際ロータリー、政府、そしてビル(アンド・メリング)ゲイツ財団など撲滅への志を同じくする諸団体と緊密に協力しました」と話すのは、同グループをインド最大手のビジネスへと育て上げた故アディティア・ビルラさん夫人、ラジャシュレー・ビルラさんです。ボンベイとムルンドの両ロータリー・クラブの名誉会員である夫人は、ポリオ撲滅に向けた「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」に、310万米ドルを寄付しました。

「そう遠くない未来に、ポリオによる麻痺障害に苦しむ子供が一人としていなくなるようにすること、これが私たちの共通の目標です」と夫人は語ります。

一方、インドのポリオ・プラス委員会は、アボット製薬と協力して、同国の各地で保健キャンプを開きました。そのうち、5月にビハール州バトナで開かれた保健キャンプでは、医師たちによる無料の診療と薬が500人以上の患者に提供されました。またこれらの患者は、ポリオやほかの病気に関する認識向上ビデオを見ました。以前に予防接種を拒んでいた地域の人々も含め、地域社会の人々との友好と信頼を築いたこれらのキャンプは、ポリオ撲滅への取り組みをさらに強化するものとなりました。



ニューデリーでのポリオ予防接種にボランティアとして参加するInterGlobe Technology社の社員とデリー・サウスウェスト・ロータリー・クラブの会員。

例会のご案内

■今週の卓話 1月27日(木)

会員卓話：大嶽達郎さん
テーマ：台湾の建築

■次週の卓話 2月3日(木) 持ち出し例会

場所：名古屋東急ホテル3階「錦の間」
卓話講師：紺野治療院 鍼灸マッサージ師 紺野哲生さん
テーマ：身体が楽になるスイッチ (セルフマッサージ編)

■次々週行事 2月9日(水) 4RC合同例会

場所：名古屋観光ホテル3階「那古の間」
時間：18:00～20:00

2011～2012年度クラブ役員理事及び委員会構成表(案)

会 長	高須 洋志	役 員	ク ラ ブ 奉 仕 委 員 長	西 本 哲	理 事
副 会 長	吉 木 洋 二	役 員	職 業 奉 仕 委 員 長	泉 憲 一	理 事
会 長 エ レ ク ト	松 波 恒 彦	役 員	社 会 奉 仕 委 員 長	宗 宮 信 賢	理 事
直 前 会 長	田 中 隆 義	役 員	国 際 奉 仕 委 員 長	松 岡 道 弘	理 事
幹 事	馬 場 將 嘉	役 員	新 世 代 奉 仕 考 委 員 長	天 野 正 明	理 事
会 計	稲 葉 徹	役 員	会 員 増 強 及 び 維 持 委 員 長	加 納 裕	理 事
S A A	増 田 盛 英	役 員	親 睦 活 動 委 員 長	堀 慎 治	理 事
副 幹 事	平 野 好 道		R 情 報 ・ 研 修 委 員 長	岡 村 達 人	理 事
			会 場 委 員 長	亀 井 直 人	理 事
			R 財 団 委 員 長	長 坂 邦 雄	理 事
			長 期 ビ ジ ョ ン 委 員 長	野 崎 洋 二	理 事
			地 区 大 会 実 行 委 員 長	高 村 博 三	理 事

奉 仕 区 分	委 員 会 名	委 員 長	副 委 員 長	委 員	
ク ラ ブ 奉 仕	ク ラ ブ 奉 仕	西 本 哲	岩 本 成 郎	近 藤 茂 弘 加 納 裕 関 谷 俊 征 堀 慎 治 梅 村 昌 孝 岡 村 達 人 亀 井 直 人	
	出 席 ニコボックス	近 藤 茂 弘	長 瀬 憲 八 郎	平 野 哲 始 郎 岩 田 吉 廣 岡 本 忠 史	
	会 員 増 強 及 び 維 持	加 納 裕①	高 木 勝②	本 多 清 治① 田 中 隆 義④ 吉 木 洋 二③	
	会 員 選 考				
	職 業 分 類				
	ク ラ ブ 広 報	関 谷 俊 征	岩 崎 道 夫	鈴 木 圓 三 杉 村 建 二	
	親 睦 活 動	堀 慎 治	大 嶽 達 郎	内 田 久 利 鈴 木 淑 久 高 木 元 明	
	プ ロ グ ラ ム	梅 村 昌 孝	落 合 諭	森 恒 夫 田 中 政 雄	
	R 情 報 ・ 研 修	岡 村 達 人①	松 井 善 則③	近 藤 雄 亮④ 増 田 盛 英③ 高 須 洋 志②	
	会 場	亀 井 直 人	伊 藤 豪	入 山 治 樹 西 沢 功 晋 鈴 木 健 司	
職 業 奉 仕	職 業 奉 仕	泉 憲 一	渡 辺 喜 代 彦	田 中 英 雄 越 原 一 郎	
社 会 奉 仕	社 会 奉 仕	宗 宮 信 賢	稲 垣 豊	布 目 徳 山 田 鎮 浩 平 野 好 道	
	環 境 保 全				
新 世 代 奉 仕	新 世 代 奉 仕	天 野 正 明	遠 山 堯 郎	小 串 和 夫 佐 藤 一 郎	
	ロ ー タ ー ア ク ト				
国 際 奉 仕	国 際 奉 仕	松 岡 道 弘	市 岡 正 蔵 (兼 延 平 班 長)	堀 慎 治 鶴 田 浩 岩 田 修 司 大 川 嘉 成	
	R 財 団	長 坂 邦 雄	大 島 浩 嗣	江 口 金 満 嶺 木 一 夫 倉 澤 寛	
	米 山 奨 学	八 木 沢 幹 夫	宇 佐 美 貞 夫	佐 藤 善 乙	
	長 期 ビ ジ ョ ン	野 崎 洋 二	岡 村 達 人	田 中 隆 義 加 納 裕 松 波 恒 彦 西 本 哲 泉 憲 一 宗 宮 信 賢 松 岡 道 弘	
	地 区 大 会 実 行	高 村 博 三	幹 事	遠 山 堯 郎	グ ル ー プ リ ー ダ ー
			副 幹 事	大 島 浩 嗣	松 波 恒 彦 天 野 正 明 松 岡 道 弘
			副 委 員 長	増 田 盛 英	岡 村 達 人 高 木 勝 平 野 好 道
副 委 員 長			長 瀬 憲 八 郎	亀 井 直 人 稲 垣 豊 加 納 裕	
副 委 員 長	稲 葉 徹				

第2760地区
出 向 者

高村 博三②(地区大会企画)、 遠山 堯郎②(地区大会企画)、
天野 正明②(研修)、 高木 勝②(職業奉仕)、 稲葉 徹①(環境保全)、
増田 盛英①(財団ポリオプラス委員長)、 加納 裕①(財団職業研修チーム)

○内の数字は委員就任年数